

木の魅力を発信する模擬店『木ものの屋』

造形学部 建築学科 森本 達也 / 造形学部 スマートデザイン学科 森 理恵 / 経営学部 総合経営学科 山崎 方義



愛・地球博20祭「地球を愛する学園祭」に出展

2025年8月に愛・地球博記念公園で開催された「愛・地球博20祭」の一環である「地球を愛する学園祭」への参加を通じて行った、学科横断型の実践的な取り組みである。愛知県内の大学38チームが4つのチームに分かれて出展し、本学は第4チーム(8月29日～31日)に参加した。

3学科の連携による実践プロジェクト

建築学科、スマートデザイン学科、総合経営学科の3学科から計25名の学生が参加し、企画から設計、制作、運営までを一貫して行った。チーム名は「木ものの屋(komonoya)」とし、「形を変えて生活に溶け込む木々に触れよう」をテーマに活動した。

約1年の準備期間を経て、3学科それぞれの特性を活かしながら、「木」の魅力を体感的に伝えることを目指した。

単なる分業にとどまらず、学科間で連携しながら互いに補い合い、ひとつの店舗を完成させた。

【建築学科】	「木製組立て式店舗」の設計・制作を担当し、来場者が木の空間を体験できる場を提供。
【スマートデザイン学科】	「木製オリジナル商品」「木のコマをつくるワークショップ」を担当し、木の魅力を発信。
【総合経営学科】	市場調査を担当し、来場者のニーズを踏まえた運営をサポート。

第4チーム来場者投票により最も印象に残るブース「MIT賞」を受賞



「木のコマをつくるワークショップ」



つくったコマでタイムトライアル



「木製オリジナル商品」を販売